

4 社会人権教育

(1) 社会人権教育研究協議会

地域ぐるみの人権教育の推進を図るために、広く人権教育関係者を対象に開催し、地域の実態に即した人権教育推進上の諸問題について研究協議した。

ア 期日・会場

- ・ 6月27日(木) 伊那市生涯学習センター
- ・ 7月8日(月) 松本合同庁舎
- ・ 7月9日(火) 佐久勤労者福祉センター
- ・ 7月10日(水) 千曲市更埴文化会館
- ・ 10月28日(月) 飯田合同庁舎

イ 参加対象者 市町村教育委員会事務局職員、公民館関係職員、社会教育関係団体代表者及び企業内人権教育関係担当者等

ウ 参加者 845人

(2) 長野県人権教育リーダー研修会

人権教育の具体的な推進方法の究明、地域住民とともに活動する指導者（地域リーダー）の資質の向上と、指導力の強化を目的として開催した。

ア 期日・会場

- 8月30日(金) 県総合教育センター (中南信会場)
- 9月6日(金) 千曲市更埴文化会館 (東北信会場)

イ 参加対象者 社会教育関係職員（社会教育主事、公民館長、公民館主事、社会教育指導員等）、社会教育団体関係者（PTA、女性団体、青年団体）、企業内人権教育関係者、隣保館関係者、学校人権教育関係者等

ウ 参加者 474人

エ 研修の目的 「長野県人権政策推進基本方針」や「人権教育推進プラン」をふまえた様々な人権問題の解決を目指した地域ぐるみの人権教育を推進するため、教育・啓発活動の今日的な取り組み課題を明らかにしながら、地域住民とともに活動する指導者（地域リーダー）の資質向上を図る。

オ 講演 中南信会場 「子どもの権利を保障することの意味」
～子どもが安心して生きていくために～
有吉美知子（すそ花法律事務所 弁護士）

東北信会場 「人権におけるメディアの役割」
岩井まつよ（コンテンツビジョン代表取締役）

カ 課題別分科会 中南信会場

- ・ 同和問題 高木美好（部落解放同盟長野県連合会）
- ・ 中国帰国者の人権 大橋春美（飯田市立山本小学校）
- ・ アイヌの人々の人権 渡邊美津子（飯田カネト合唱団）
- ・ 企業の社会的責任（CSR）
橋本京子 北原綾子（シャンゼリゼ美容室）
胡桃澤輝彦（栄村立栄中学校）
- ・ 参加体験型学習 両澤宏樹（北信教育事務所）

- 中南信会場 ・同和問題 畔上一康 (信州大学教育学部附属長野小学校)
 ・子ども的人権 秦 健二 (NPO法人遊び塾)
 ・アイヌの人々の人権 渡邊美津子 (飯田カネット合唱団)
 ・犯罪被害者の人権
 中島敏徳 (長野犯罪被害者支援センター)
 宮田幸久 宮田元子 (長野県人権教育講師)
 ・参加体験型学習 塩澤秀彦 (南信教育事務所)

(3) 社会人権教育リーダー養成講座

地域住民とともに、あらゆる人権問題の解決に向けた学習活動に取り組む地域リーダー(指導者)を育成する。

ア 期日・会場

地区	実施日		
東信地区	7月30日	10月2日	
北信地区	6月12日	10月16日	1月15日
中信地区	6月14日	10月7日	11月14日・21日

上記(県下3会場で8回の講座)の他、社会人権教育研究協議会及び社会人権教育リーダー研修会に参加する。

イ 参加者 390人

ウ 講座内容 演習・講義・現地学習 等

(4) 人権教育促進事業補助金 (補助率 1/2)

人権教育講座等を開設、開催した市町村にその経費の一部を補助した。

教育事務所	市町村数	人権教育講座数	補助金額 (千円)
東 信	10	32	665
南 信	21	29	721
中 信	10	17	379
北 信	8	32	745
計	49	110	2,510

(5) 「人権つうしん」の発行

企業やNPO法人等の各種団体、地域コミュニティーにおける社会人権教育の一層の推進を図るため、個別的な人権課題を中心に作成し、人権教育啓発資料として配布した。

ア 発行回数 年2回（人権つうしん45号、46号）

イ 発行部数 各回 8,000部

(6) 「長野県地域人権ネット」

人権問題に取り組む個人や団体と県民や行政が相互に連携しながら、地域ぐるみの人権教育の推進を支援するため、取り組みの情報を県のホームページに掲載し、活動状況を情報交換した。

ア 登録状況 95団体・個人(26年3月末現在)

イ ホームページへの掲載